

誓いの言葉

本日は二十歳を迎えた私たちの門出に際し、このような盛大で、素晴らしい式典を開催していただき誠にありがとうございます。

また御式辞をいただきました、上田市教育委員 萱津公子様をはじめ、本日の式典開催に向けて御協力いただきました皆様に対し、代表して心より御礼申し上げます。

私たちは、二十歳という人生の節目を迎え、気持ちが昂るとともに、緊張もしています。

この二十年間は沢山の経験と学びを重ね、今日この日を迎えることができました。振り返ればいつもそばには誰かが居てくれました。両親や先生方、友人や地域の人など多くの人に支えられ、今の私たちがいます。たわいのない会話や時には真面目な話をできる友人にも出会えたことは大きな宝物です。

今、社会は地域住民の関係が希薄化しています。ですが、武石地域は違うと感じます。私の一番の思い出は、武石の伝統行事である御柱祭のおねり行列に参加できたことです。練習は大変でしたが、練習の成果があって本番で成功を収めることが出来ました。練習や本番では、多くの地域の人と関りがありました。「頑張って」や「凄い」などの声援がとても励みになりました。二十年間、地域の方々が温かい心で優しく見守ってくださいました。今度は私たちが、武石で培った温かい心を持って、誰かの役に立ち支えていける存在になりたいと思います。

私は今、福祉について勉強をしています。将来は生まれ育った地域で誰もを取り残されることのない社会を地域住民と共に創り上げていきたいです。

結びにあたり、これまで多くの場面で温かく見守ってくださった、家族や地域の皆様に感謝を申し上げまして、簡単ではございますが、共に成長し歩んできた同郷の仲間たちを代表して誓いの言葉とさせていただきます。

本日はありがとうございました。

令和7年1月12日
武石公民館会場
(依田窪南部中学校区域)
成人代表 竹内春翔